



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーダット

コード番号 3841 URL <http://www.iestat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河内 一往

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田口 康弘

TEL 03-5847-0312

四半期報告書提出予定日 平成27年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	786	10.3	65	55.4	63	13.7	34	△40.0
27年3月期第2四半期	712	4.5	41	12.0	56	19.0	56	16.0

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 34百万円 (△38.3%) 27年3月期第2四半期 55百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.74	—
27年3月期第2四半期	29.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,886	2,476	85.8
27年3月期	2,841	2,515	87.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,475百万円 27年3月期 2,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	8.6	150	19.3	170	△7.5	81	△61.7	42.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 愛績旻(上海)信息科技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	1,950,000 株	27年3月期	1,950,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	30,049 株	27年3月期	30,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	1,919,951 株	27年3月期2Q	1,919,991 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社企業グループの主要顧客である半導体およびFPD (Flat Panel Display) 等の国内電子部品業界では、国内景気の回復基調が徐々に鈍化する中、売上高、収益ともに横ばい傾向になりつつあります。自動車やIoT (Internet of Things) 関連向けは依然として高い業績を維持しておりますが、スマートフォン関連向けは中国における需要の伸び悩みを受けて、先行きに陰りが見られるようになってきました。

このような状況の中、当社企業グループは、国内市場では、引き続き好調なセンサーデバイス、ディスプレイデバイス、パワーデバイス等の分野にフォーカスして販売活動を行いました。加えてアナログ半導体設計向けに新製品を投入し、代理販売製品のラインナップを拡充することで、売上の拡大を図りました。ソリューション・ビジネスにおいては、設計委託需要の拡大に対応して設計者の大幅増員を実施し、EDAアウトソーシングサービスも本格始動しました。海外市場では、国際的な展示会・学会に新製品を出展し、また中国を始めとした各国代理店構成の見直しを実施することで、半導体市場向け販売力の強化を図りました。

このような活動の結果、ソリューション・ビジネスおよび海外向けの売上が大幅に伸長したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期と比較して73百万円(10.3%)増加して7億86百万円となり、営業利益は65百万円(前年同四半期比55.4%増)、経常利益は63百万円(同13.7%増)となりました。中国子会社出資金の売却による特別損失の計上ならびに繰延税金資産の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円(同40.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期連結会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前連結会計年度と比較して44百万円(1.6%)増加し28億86百万円となりました。内訳として、流動資産は3億40百万円(15.1%)増加し25億97百万円、固定資産は2億96百万円(50.7%)減少し2億88百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、受取手形及び売掛金が80百万円(37.0%)減少し1億37百万円となった一方、有価証券を3億円計上したこと及び、現金及び預金が1億5百万円(5.5%)増加し20億23百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、投資有価証券が2億92百万円(56.8%)減少して2億22百万円になったことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度と比較して82百万円(25.3%)増加し4億9百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、買掛金が11百万円(23.1%)減少して37百万円となった一方、前受金が1億29百万円(141.3%)増加し2億21百万円となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度と比較して38百万円(1.5%)減少し24億76百万円となりました。純資産が減少した主な要因は、利益剰余金の増加5百万円の方で、為替換算調整勘定の減少7百万円及び、非支配株主持分の減少37百万円によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度の87.2%から85.8%となりました。

② 当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度と比べ1億5百万円増加し11億23百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期比で1億14百万円(143.0%)増加し、1億95百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が37百万円、前受金の増加が1億32百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同四半期比46百万円(243.3%)増加し66百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入1億22百万円を計上した一方で、有価証券の取得による支出を1億35百万円、連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出を52百万円計上したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8百万円(43.7%)増加して27百万円となりました。主な要因は、配当金の支払であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成27年6月30日付で当社の連結子会社であります愛績旻(上海)信息科技有限公司の当社持分出資金の全部を譲渡いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては損益計算書のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,918,439	2,023,776
受取手形及び売掛金	218,796	137,924
電子記録債権	28,653	22,867
有価証券	—	300,000
たな卸資産	25,648	17,583
繰延税金資産	26,299	32,527
その他	39,174	63,117
流動資産合計	2,257,012	2,597,797
固定資産		
有形固定資産	27,467	19,527
無形固定資産	20,202	18,223
投資その他の資産		
投資有価証券	515,385	222,733
繰延税金資産	—	7,908
その他	21,885	20,099
投資その他の資産合計	537,270	250,741
固定資産合計	584,941	288,492
資産合計	2,841,954	2,886,289
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,306	37,159
未払法人税等	12,628	7,636
賞与引当金	73,570	79,947
前受金	91,892	221,731
その他	100,432	62,987
流動負債合計	326,831	409,462
負債合計	326,831	409,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	852,615	857,888
自己株式	△32,742	△32,742
株主資本合計	2,470,437	2,475,710
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,117	—
その他の包括利益累計額合計	7,117	—
新株予約権	—	1,116
非支配株主持分	37,568	—
純資産合計	2,515,123	2,476,826
負債純資産合計	2,841,954	2,886,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	712,852	786,161
売上原価	216,806	239,274
売上総利益	496,046	546,887
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,338	17,177
給料及び手当	152,500	167,108
賞与引当金繰入額	42,261	49,566
研究開発費	94,054	95,755
その他	145,953	152,089
販売費及び一般管理費合計	454,108	481,698
営業利益	41,937	65,189
営業外収益		
受取利息	5,240	3,842
助成金収入	6,577	—
その他	2,702	348
営業外収益合計	14,520	4,190
営業外費用		
為替差損	—	1,133
投資有価証券売却損	284	—
投資事業組合運用損	—	4,438
その他	72	0
営業外費用合計	356	5,572
経常利益	56,101	63,808
特別損失		
関係会社出資金売却損	—	26,312
特別損失合計	—	26,312
税金等調整前四半期純利益	56,101	37,495
法人税、住民税及び事業税	5,469	2,949
法人税等調整額	—	△14,136
法人税等合計	5,469	△11,187
四半期純利益	50,631	48,683
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,183	14,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,815	34,072

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	50,631	48,683
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,209	△14,234
その他の包括利益合計	5,209	△14,234
四半期包括利益	55,841	34,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,420	26,955
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,579	7,493

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	56,101	37,495
減価償却費	7,083	7,938
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,095	6,376
投資事業組合運用損益(△は益)	—	4,438
受取利息	△5,240	△3,842
関係会社出資金売却損	—	26,312
売上債権の増減額(△は増加)	△31,678	29,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,502	8,065
前渡金の増減額(△は増加)	△55,235	△22,530
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,580	1,771
前受金の増減額(△は減少)	107,287	132,802
その他	4,598	△27,698
小計	89,933	200,454
利息の受取額	5,237	3,847
法人税等の支払額	△14,798	△8,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,372	195,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△900,000	△900,000
定期預金の払戻による収入	900,000	900,000
有形固定資産の取得による支出	△4,013	△451
無形固定資産の取得による支出	△9,816	△984
投資有価証券の取得による支出	△4,049	△135,548
投資有価証券の売却による収入	3,764	122,940
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	—	△52,198
その他	△5,180	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,294	△66,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△19,200	△28,799
自己株式の取得による支出	△66	—
新株予約権の発行による収入	—	1,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,266	△27,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,861	3,933
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46,671	105,337
現金及び現金同等物の期首残高	919,440	1,018,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	966,112	1,123,776

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。